



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社

コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	772	42.7	1	—	△3	—	△15	—
28年3月期第2四半期	541	△7.4	△10	—	△13	—	△78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△3.06	—
28年3月期第2四半期	△15.25	—

(注) 28年3月期第2四半期及び29年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第2四半期	963		507		52.5	
28年3月期	746		524		70.0	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 506百万円 28年3月期 521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	49.6	80	74.4	75	74.4	70	—	13.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	5,195,995 株	28年3月期	5,195,995 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	— 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	5,195,995 株	28年3月期2Q	5,126,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、景気の一部持ち直しに伴い、消費者マインドについても限定的ながら改善が見られ、実質消費支出が3ヵ月連続で増加するなど、個人消費に回復の兆しが見られます。そのような中、スマートフォンの契約数は引き続き増加しており、それに伴いスマートフォン向けゲームアプリケーション市場も安定的な成長が見込まれます。

そのような状況下で、当第2四半期会計期間においても、当社は引き続きスマートフォン向けゲームアプリケーションの提供を中心に事業を展開しております。

売上高につきましては、既存事業のソーシャルゲーム『グリパチ』が半期単位で過去最高の課金額を記録するなど好調に推移したほか、パチスロシミュレータアプリに関しても、9月に過去最高の単月売上高を記録するなど、全体の売上高は半期単位で過去最高となりました。

営業損益においては、パチスロシミュレータアプリで複数タイトルのリリースが当第2四半期末となったことに伴い、外注費等の売上原価が先行して費用処理されております。また当第2四半期累計期間で合計6タイトルの配信を行ったことにより、売上原価が前年同期比で大幅に増加しております。

特別損益においては、知的財産権譲渡益を計上するものの、一部配信中タイトルについて、今後の収益性改善が難しいと判断した固定資産の減損処理を実施し、評価損失を計上いたしました。

また、繰延税金資産につきましては、将来減算一時差異の増加を要因に追加計上をいたしました。

以上の結果、売上高は772,517千円(前年同期比42.7%増)、営業利益1,392千円(前年同期は営業損失10,720千円)、経常損失3,088千円(前年同期は経常損失13,589千円)、四半期純損失15,893千円(前年同期は四半期純損失78,178千円)となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

①既存ソーシャルゲームについては、バーチャルホール『グリパチ』が半期売上で過去最高を記録し、会員数も当第2四半期において330万人を突破するなど、依然として順調に推移しております。また一部不採算ゲームアプリについてサービスの終了や運営方針の見直しを決定し、その分のリソースを新規開発中のゲームアプリに振り分けております。

②パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリについては、人気タイトルの投入など複数タイトルの配信を行ったことで9月の月次売上が過去最高を記録するなど、好調に推移しました。

③その他ゲームパブリッシング事業については、複数の新規タイトルに関して、検討及び開発を進行しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から217,496千円増加し、963,681千円(前事業年度末比29.1%増)となりました。

これは、主に流動資産で現金及び預金280,297千円、受取手形及び売掛金5,855千円の増加とその他16,764千円が減少し、固定資産で無形固定資産39,760千円、投資その他の資産12,664千円が減少したことによるものです。

②負債

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から234,508千円増加し、456,665千円(前事業年度末比105.6%増)となりました。

これは、主に流動負債で買掛金57,724千円、短期借入金50,000千円、1年以内返済予定の長期借入金9,376千円の増加とその他18,820千円が減少し、固定負債で転換社債型新株予約権付社債100,000千円、長期借入金32,290千円が増加したことによるものです。

③純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から17,011千円減少し、507,016千円(前事業年度末比3.2%減)となりました。

これは、主に四半期純損失の計上に伴う利益剰余金15,893千円が減少したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期と比べ191,089千円増加し、537,695千円（前年同四半期比55.1%増）となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は56,395千円（前年同期は4,144千円の使用）となりました。

これは、主に減価償却費14,467千円、減損損失45,053千円、仕入債務の増加57,724千円の増加と、税引前四半期純損失16,679千円、知的財産権譲渡益31,461千円、売上債権の増加11,525千円の減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は36,851千円（前年同期は58,835千円の使用）となりました。

これは、主に知的財産権の譲渡による収入31,461千円とその他の収入5,400千円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は187,049千円（前年同四半期比94.9%増）となりました。

これは、主に短期借入れによる収入50,000千円、長期借入れによる収入50,000千円、新株予約権付社債の発行による収入96,501千円の増加と、長期借入金の返済による支出8,334千円、新株予約権の買入消却による支出1,795千円の減少によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

減価償却方法の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	257,397	537,695
受取手形及び売掛金	249,356	255,211
商品及び製品	1,499	—
仕掛品	7,978	11,491
原材料及び貯蔵品	2,063	2,256
その他	82,758	65,994
流動資産合計	601,053	872,649
固定資産		
有形固定資産	13,953	12,279
無形固定資産	45,689	5,928
投資その他の資産	85,488	72,824
固定資産合計	145,131	91,032
資産合計	746,185	963,681
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,056	177,781
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	16,664	26,040
未払法人税等	4,518	10,883
その他	49,024	30,204
流動負債合計	190,263	294,909
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	100,000
長期借入金	—	32,290
退職給付引当金	10,269	10,269
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
その他	2,427	—
固定負債合計	31,893	161,756
負債合計	222,157	456,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	784,452	784,452
資本剰余金	215,561	215,561
利益剰余金	△478,021	△493,915
株主資本合計	521,992	506,098
新株予約権	2,035	917
純資産合計	524,027	507,016
負債純資産合計	746,185	963,681

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	541,399	772,517
売上原価	356,370	576,070
売上総利益	185,029	196,447
販売費及び一般管理費	195,749	195,055
営業利益又は営業損失（△）	△10,720	1,392
営業外収益		
受取利息	38	9
業務受託料	660	—
その他	0	5
営業外収益合計	698	14
営業外費用		
支払利息	265	696
支払手数料	863	300
株式交付費	2,438	—
社債発行費	—	3,498
営業外費用合計	3,567	4,495
経常損失（△）	△13,589	△3,088
特別利益		
知的財産権譲渡益	—	31,461
特別利益合計	—	31,461
特別損失		
減損損失	60,320	45,053
特別損失合計	60,320	45,053
税引前四半期純損失（△）	△73,910	△16,679
法人税、住民税及び事業税	1,095	5,210
法人税等調整額	3,172	△5,996
法人税等合計	4,268	△785
四半期純損失（△）	△78,178	△15,893

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△73,910	△16,679
減価償却費	16,455	14,467
減損損失	60,320	45,053
知的財産権譲渡益	—	△31,461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	—
受取利息及び受取配当金	△38	△9
支払利息	265	696
株式交付費	2,438	—
社債発行費	—	3,498
売上債権の増減額(△は増加)	35,984	△11,525
たな卸資産の増減額(△は増加)	△833	△2,207
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,431	57,724
前払費用の増減額(△は増加)	99	△6,039
長期前払費用の増減額(△は増加)	583	549
その他	△25,888	3,728
小計	3,024	57,795
利息及び配当金の受取額	38	9
利息の支払額	△257	△747
法人税等の支払額	△6,949	△1,199
法人税等の還付額	—	537
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,144	56,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△200	—
無形固定資産の取得による支出	△58,635	—
出資金の払込による支出	—	△10
知的財産権の譲渡による収入	—	31,461
その他の収入	—	5,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,835	36,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金返済による支出	△8,334	△8,334
株式の発行による収入	99,825	—
株式の発行による支出	△2,438	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,082	—
新株予約権付社債の発行による収入	—	96,501
新株予約権の発行による収入	1,842	677
新株予約権の買入消却による支出	—	△1,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,977	187,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,997	280,297
現金及び現金同等物の期首残高	313,607	257,397
現金及び現金同等物の四半期末残高	346,605	537,695

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。